



表彰を受ける山岡館長

口和公民館が、優良公民館として文部科学大臣から表彰を受けました。口和公民館では、公民館活動の充実を図るため、ボランティア活動を行うなかで知識や技術などを持つた人材を育成。生産から加工までの食育活動事業や、園児・児童への本の読み聞かせ事業、小学生への英会話教室を実施し、地域内での「学びの場」を提供しています。また、毎年「くちわ文化祭」を開催し、芸術活動の発表の場も提供するとともに、さまざまな講座を行い、交流と文化活動の拡大を行っています。

和所 口支

異世代交流と文化活動など評価 口和公民館が全国表彰

これらの活動展開が高く評価され、このたびの表彰となりました。この表彰は、全国47都道府県の教育委員会から推薦を受けた公民館が審査のうえ表彰されるもので、広島県からは竹原市の忠海公民館と口和公民館の2公民館が表彰を受けました。

治課 自振

地域が輝く体制づくりを考える まちづくり実践ネットワーク講座

「まちづくり実践ネットワーク講座」を11月24日から、比和文化会館など市内3会場で開催しました。本年度は、「地域運営の新たな体制づくり」をテーマに、島根県中山間地域研究センターの藤山浩さんが講演。島根県の社会実験事業を事例に、「小規模・高齢化した集落では、人手がいる作業や会計事務の担い手が不足し、地域運営のサイクルが途絶えようとしている。地域活動の切れ目を補う人材や体制の強化が地域の底力を引き出し、円滑な地域運営に結びつく」と地域課題の解決策を提案しました。

次いで、山内と高自治振興区の取り組みや組織体制について、それぞれの事務局長が発表し、各会場で課題とされている自治振興センター化や組織体制について活発な意見交換が行われました。



講演する藤山さん



講演する江川さん

来場者に行ったアンケートでは、「広い世界観を感じることができた」「貴重な経験から想像することの大切さを学ぶことができた」などの感想が寄せられました。

総務課

相手を思いやる気持ち大切に 庄原市人権講演会

12月4日から10日までの人権週間にあわせ、庄原市人権講演会を12月4日、市民会館で開催し、約550人が来場しました。テレビでおなじみのジャーナリスト、江川紹子さんが「混迷の時代を生きる命の重さ」と題して講演。

イラク戦争やオウム真理教を取材した経験、そして最近の話題などを紹介し、「国の事業仕分けでは、成果が数字で表しにくいものが無駄と判断された。人権活動など成果が分かりにくい事業や小さな声をどう生かしていくかが大切」と話しました。また、講演の最後には「人権を主張するだけではなく、想像力を持って相手を思いやるのが大事」と呼びかけました。

育課 教総

応援感謝「教育振興に役立てて」 広島東洋カープが市へ寄付金



松田オーナー(右)が寄付金を贈呈

広島東洋カープの松田元オーナーが11月25日、庄原市役所を訪れ、滝口季彦市長へ「教育施設整備に役立ててください」と寄付金を贈りました。滝口季彦市長は「教育振興に有意義に使わせていただき、感謝状を贈りました。」と述べ、感謝状を贈りました。商工会議所や観光協会などの呼びかけで平成17年に結成した「庄原市カープ応援隊」は、広島市民球場の外野席40席を年間購入。21年度は過去最大



野村監督へ特産品を手渡した前田万里子さん(左)と義志ありかさん(右)

の2666人が参加しました。市役所1階のロビーでは、庄原市カープ応援隊が、同行した野村謙二郎監督へリンゴ、ダイコン、キムチなど特産品を贈り、「来年はぜひ優勝して」と激励しました。

会課 福祉

発達障害の正しい支援を学ぶ 人権啓発セミナー

障害者福祉の理解を深める「人権啓発セミナー」を12月7日、ふれあいセンターで開催し、文京学院大学の伊藤英夫教授が「発達障害児の支援について」と題して講演しました。伊藤教授は、発達障害のある子どもが増加していることや、その原因がはつきりと特定できない現状を紹介。「1歳半前後の早い段階で発達障害に気付けば、より一層その児童に適した保育、教育ができる。発達障害について正しい知識や理解、支援方法を知り、相手に共感する気持ちを持つことが大切」と呼びかけました。発達障害に対する関心の高さから、保護者をはじめ、保育・教育関係者など約180人が熱心に聴講。日ごろから発達障害児と関わることも多い教育関係者からは「正しい知識を学ぶことができた」「理解や記憶を助けるためには絵文字などを利用した視覚支援が大切だと分かった」「支援方法をもっと教えてほしい」という感想が寄せられました。発達障害への支援については、療育手帳の取得ができない、障害者自立支援法で支援対象となっていない、障害を認定する専門心理士が少ない



スクリーンを使って講演する伊藤教授

いなど、課題があるのが現状です。今回の講演会は、発達障害への正しい支援の方法を知っていただく良い機会となり、今後、発達障害の早期発見、周囲の方々の理解促進、支援環境の整備につながる第一歩となりました。伊藤教授には、庄原市障害者支援アドバイザーとして、ご指導をお願いしています。 ※発達障害とは、広汎性発達障害(自閉症・アスペルガー症候群)、注意欠陥多動性障害、学習障害などの総称で、コミュニケーションが取りにくい、多動多弁、こだわりが強いなどの障害特性がみられます。